

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	2	3	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	道路河川整備課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	鎗田 淳			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	事業量を拡大するため、国の交付金の導入を積極的に図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	市道12号線(歩道整備)の完了に伴い市道1号線の交差点部分の用地測量を行う。
②①に基づく取り組み結果	国の交付金の導入を図り、事業量を拡大した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に登下校できるようにする。
②事務事業の概要	児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	通学路の拡幅や歩道確保をすることで、登下校時の通学路における児童生徒の安全を図る。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市道1号線用地測量、市道12号線歩道新設工事(L=95.0m)				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 学校災害件数の割合	6.5	6.4	6.3	% 業務取得
	ii 事業費【平成24年度からの累計】	9,414	21,858	52,437	千円 決算書
	iii 工事延長【累計】	0	0	95	m 業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	12,444	30,579	金額(千円)	内容	7,000
国支出金(千円)	1,760	11,140	19,673	市道12号線歩道新設工事	
県支出金(千円)			4,914	市道1号線用地測量委託	
市債その他(千円)		8,200			
一般財源(千円)	10,684	11,239			7,000

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路の拡幅等中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	児童・生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要がある。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	市道1号線用地測量、市道12号線整備	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
		計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	市道1号線用地測量、市道12号線歩道新設整備工事	32,000	32,000	当初	32,000	H26からの繰越
				H26→27繰越		
③達成状況	完了			補正		現年分
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	通学路整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	市村昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	26年度の通学路実態調査等を基に、環境整備工事を行う。さらに、安全運転講習会などの啓発活動にも取り組む。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	27年度の学校やPTAの要望に基づき、安全施設の整備を行い、自転車講習会など安全指導面も継続して実施する。
②①に基づく取り組み結果	指定通学路上の環境整備を行い、安全指導面の自転車安全運転講習会やスケアードストレイト自転車安全教室も予定どおり実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒及び通学路	意図(対象をどうするのか)	児童生徒が安全に安心して登下校できるようにする。
②事務事業の概要	通学路安全対策推進行動計画に基づき、安全施設の整備(グリーンベルトの設置・補修、カラー舗装の設置・補修、看板の設置等)などを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成18年度からの事業として指定通学路上に安全対策を施し、市内における児童生徒の事故件数は減少傾向にあるが、学校やPTAからの要望は絶えず、継続的に実施していく必要がある。なお、今後はこれまでに設置した安全対策の補修が中心になっていくと考えられる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	平成27年度予定していた安全施設設置工事は完了し、年度途中の要望についても可能な範囲で対応することができた。安全指導の面でも、自転車講習会や自転車教室など予定どおり実施することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数	6.5	6.4	6.3	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	19,965	14,788	金額(千円)	内容		15,000	
国支出金(千円)			11,822	工事請負費			
県支出金(千円)			1,492	樹木剪定委託			
市債その他(千円)			561	スケアードストレイト自転車講習安全教室業務委託			
一般財源(千円)	19,965	14,788	780	青色パトロールカー関係		15,000	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	信号機設置や歩道拡幅の要望の割合が高いが、設置できないケースも多く、代替的な対策で対応せざるを得ない。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	学校やPTAからは毎年要望を受けているので、予算や優先順位を考慮して、順次工事を実施し、中長期的な工事も行っていくため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	通学路整備工事や安全指導	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	環境整備工事を始め、安全指導も行った。	15,000	15,054	当初	15,000	14,788	H26からの繰越
				H25⇒26繰越			現年分
③達成状況	完了			補正			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	54		
		平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	児童生徒安全パトロール事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	1	○
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	市村昌子			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	実情に合った安全パトロールを実施する。学校等からの不審者情報にもすぐに対応。場合によっては、指定通学路に限らず、人気のない箇所も巡回していく。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	学校や青少年センターと連携し、指定通学路に限らず、人気のない箇所等市内全域を巡回する。また、不審者情報等にも迅速に対応していく。
②①に基づく取組み結果	徒歩、車による市内全域のパトロールを行い、巡回箇所の強化や不審者情報への対応も強めることができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	小中学校の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	児童生徒のために安全な地域環境の維持を図る。
②事務事業の概要	市内の指定通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	不審者情報等の件数が極端に減少することはないが、大きな事件事故が発生していないのは、毎日継続的にパトロールを行っていることで、抑止力が生じていると考えている。また、就業時に得た不審者情報等については、パトロール員に直接情報を伝えるといった臨機応変な対応が必要となる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	市内を4つのエリアに分け、平日13:00から18:30にかけて、8名4班体制でパトロールを実施した。夏休み等の長期休業の時は、児童生徒の集まる公園等も重点的に巡回した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	学校災害件数の割合	6.5	6.4	6.3	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算		
事業費(千円)	15,955	15,240	金額(千円)	内容	17,849		
国支出金(千円)			15,240	児童生徒安全パトロール			
県支出金(千円)							
市債その他(千円)							
一般財源(千円)	15,955	15,240			17,849		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	下校時間帯の不審者情報も多く見られ、学校や青少年センターとも連携して、迅速に対応していく必要がある。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	児童生徒の下校時の安全を確保するために、継続的に実施していく事業であり、臨機応変に対応できるパトロール体制を維持していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	児童生徒の安全確保のため、パトロールの実施。	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	継続的に市内通学路を中心にパトロールを実施した。	17,849	17,795	当初	17,849	15,240	H26からの繰越
				補正			現年分
③達成状況	完了			流用・充当	▲54		
④未完了・非着手の理由		平成28年度への繰越額(単位:千円)					

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	学校給食運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	10	5	3	
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	担当課室	学校教育課			
施策	133児童・生徒の健康と安全の確保	担当課室長	仲田 政樹			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	PFI事業契約に基づき、事業者と連携を密にし、安全安心な学校給食の提供を維持するとともに、学校給食センター施設の活用による食育の推進への取り組みを行う。	③平成28年度に取組む改革・改善内容	学校給食センターにおける食育の更なる充実と平成29年度に向けた食物アレルギー対応第2段階への準備期間として、学校と協議し進めていく。
②①に基づく取り組み結果	事業者との定期的協議会の他、分科会を開催し状況の確認や情報共有を積極的に図った。学校訪問に事業者(調理員)が参加するなど食育を協同で取り組んだ。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内小中学校の児童生徒	意図(対象をどうするのか)	食育を通じて食の大切さを伝える
②事務事業の概要	市内小中学校14校に対して、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	平成26年4月に学校給食センターが新規開業したことに伴い、さらなる給食の充実・食育の取り組みへの要望がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	①小中学校14校児童生徒 8,454人(平成27年5月1日現在)に対し年間184日の学校給食を実施、②アレルギー対応食(除去食)の提供、③栄養士による学校訪問(14校)、④センター見学(18クラス590人)、⑤展示・Facebookによるセンター紹介					
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i 給食実施日数	184	184	184	日	業務取得
	ii アレルギー対応食の提供人数		2	5	人	業務取得
	iii 学校見学対応人数			590	人	業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算	
事業費(千円)	843,608	850,886	金額(千円)	内容	853,197	
	国支出金(千円)		447,652	給食賄材料購入		
	県支出金(千円)		63,570	センター施設購入		
	市債その他(千円)		40,866	維持管理業務負		
	一般財源(千円)	843,608	850,886	286,510	運営業務負担	853,197

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	PFI事業契約に基づき事業者と連携を密にし安全安心な学校給食の提供を維持するとともに、学校給食センター施設の活用による食育の推進への取り組みを行う。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	見学対応やセンター紹介展示等による学校給食センターの見える化の取り組みを実施し充実を図ったが、更に取り組みを進めていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)			
	計画事業費	予算額		決算額
②計画に対する事業実績	0	当初		0
		H26⇒27繰越		
③達成状況	0	補正		0
		流用・充当		
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)			